

# 天空の「聖地」で愛を叫ぶ

1512-1

すがすがしい高原で愛を育んで……。大山のふもとに広がる伯耆町の杵水高原が「恋人の聖地」に選ばれた。町おこしと少子化対策のため、NPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）が進めるプロジェクトで、山陰地方の選定は初めて。町は「全国にアピールするチャンス」と意気込んでいる。（中村瞬）

## 杵水高原「プロポーズにふさわしい」



「恋人の聖地」プロジェクトは、プロポーズにふさわしい場所を全国100カ所を目標に選ぶ企画で、2006年に始まった。各地の観光振興や地域間の交流、少子化対策につなげる狙いがある。

すでに六本木ヒルズ展望台（東京）や梅田スカイビル空中庭園（大阪）など96カ所が聖地になっている。今月25日に選定委員会が開かれ、ファッションデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎春吾さんが杵水高原など新たに7カ所を選んだ。

新緑の杵水高原はカップルがゆっくり過ごすにはもってこい。伯耆町大内杵水高原

杵水高原には身分違いの悲恋を描いた地元出身の小説家大江賢次の代表作「絶唱」の石碑が立つ。夏のイベント

## 標高900mの絶景PR、桂由美さんらが選定

で恋人へのメッセージとともに花火を打ち上げたり、スキーシーズン真っただ中のパレタインデーにしろそくで幻想的な演出を施したりと、地元はこれまでもカップルを意識した催しを展開してきた。

そこで伯耆町は聖地の候補として名乗りを上げることを決め、標高900m以上の展望台から眺める絶景や、静かにゆったりと過ごす自然の美しさを売り込んだ。

伯耆町地域再生戦略課は「他の聖地は有名な観光地ばかり。肩を並べられるようにしたい」と熱が入る。今後、町のホームページでアピールするほか、杵水高原でリフトを運行する業者と連携し、山陰唯一の聖地を全国に発信する考えだ。

6月1日に東京で開かれる発表会には森安保町長が出席する。森安町長は「選定を弾みにカップルを始め多くの人に来てもらいたい。恋人への愛だけではなく、自然に対する愛情も深めてもらえる場所にした」と語った。